

- 昭和32年 財団法人愛知教育文化振興会を設立  
\* 刊行物《小学校6品目・中学校5品目》  
「冬休み日誌」「夏休み日誌」「ことばのきまり」  
「旅行のしおり」「かきぞめ手本」小・中学校版  
「あたらしい家庭科」小学校版
- 37年 創立5周年記念事業（各学校へ壁掛温度計贈呈）
- 41年 各郡市へ教育振興費助成を開始
- 42年 創立10周年記念事業（各学校へ丸型温度計贈呈）  
\* 刊行物《小学校14品目・中学校16品目》
- 47年 創立15周年記念事業（各学校へ壁掛花瓶贈呈）
- 52年 教育研究助成を開始  
創立20周年記念事業（「20年誌」を発刊）
- 53年 「会報」第1号の発行（年1回・横書き4頁）
- 55年 「会報」を教育情報誌「教育と文化」に改題
- 57年 創立25周年記念事業（各学校へ平定規贈呈）
- 62年 創立30周年記念事業（「30年誌」を発刊）
- 平成4年 創立35周年記念事業（「教育と文化」特集号を発行）
- 9年 創立40周年記念事業（「三河人物散歩」を発刊）
- 12年 読書活動グループ助成開始
- 19年 創立50周年記念事業（「三河人物散歩 二」を発刊）
- 23年 教育研究助成を団体研究・個人研究・教育図書出版  
に分離、「かきぞめコンクール」の実施
- 24年 公益財団法人愛知教育文化振興会への移行
- 29年 三河教育会館落成式、完成式・完成を祝う会  
「ネイチャーウォッチング」（自然体験活動）の実施  
創立60周年記念事業（「60年誌」「三河人物散歩 三」  
を発刊）
- 30年 「みかわ彩発見絵画コンクール」の実施
- 令和元年 「教育と文化」をオールカラー化
- 2年 刊行物デジタル化の検討を開始  
\* 刊行物《小学校23品目・中学校19品目》
- 3年 ICT部 新設
- 4年 災害等緊急支援助成を創設  
文振メールマガジン「文振だより」を創刊
- 5年 「学習類・演習類」の教師用は、すべてPDF版で提供
- 6年 デジタル採点支援システム「文振版 リアテンダント」の導入